

令和元年11月6日

～南海電鉄河内長野駅に日本遺産 PR 看板を設置～

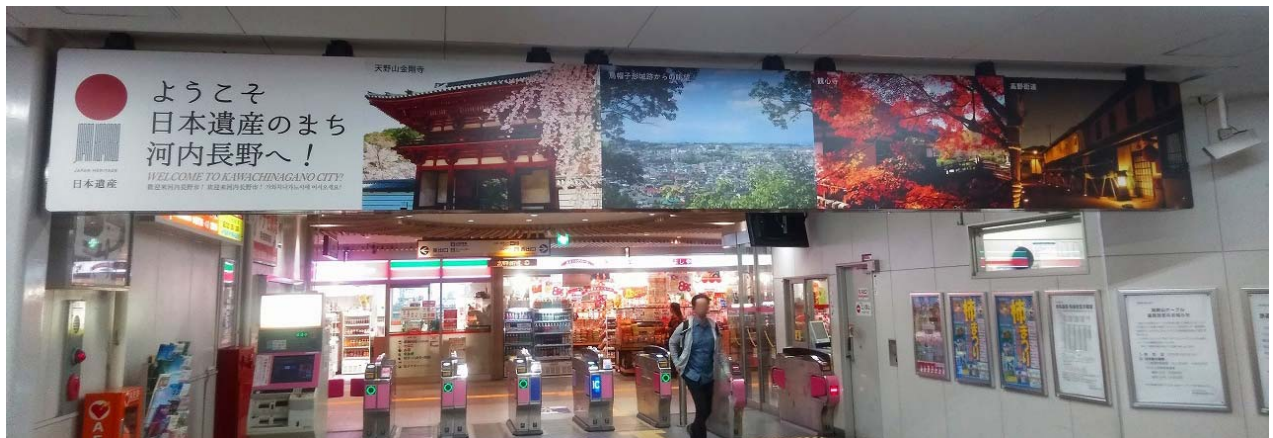
河内長野市が日本遺産申請をしておりました「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」が、令和元年5月20日付けにて認定されたことを受け、市では、観光振興など相互の発展に資するための包括連携協力に関する基本協定を締結している南海電気鉄道株式会社の協力のもと、河内長野駅構内に「日本遺産のまち」をPRする看板を設置しました。

これは、河内長野駅を利用する市民や、河内長野市を訪れる観光客に本市の日本遺産の魅力を広く知っていただくきっかけとなるよう、設置を進めたものです。

今後も、河内長野市と南海電鉄は互いに協力し「日本遺産のまち河内長野市」のPRを進めていく予定であり、現在別紙のとおり事業を実施しておりますので、是非多くの皆様にご参加いただければと思います。

記

1. 南海電鉄河内長野駅構内行先表示板裏への日本遺産PR看板の設置
設置日：令和元年10月24日（木）



【河内長野市が申請したストーリーの概要】

河内長野市は京と高野山を結ぶ街道の中間地に位置し、檜尾山観心寺、天野山金剛寺の2大寺院が隆盛したまちである。街道沿いの白壁の塀、銀色に輝く瓦葺きの屋根、朱・緑・黄色などの鮮やかな柱、優雅で美しいその建物の中は凜とした静けさに包まれ、金色に光り輝く仏像が安置されている。

この2大寺院の隆盛により市域では多くの社殿、お堂や仏像が造られ、また交通の要衝となったことから山城も築かれた。ここは、悠久の時を超えて千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫であり、訪れる人がまちじゅうで中世を体感できるまちである。

別紙：南海電鉄と連携して実施する日本遺産PRに関連する事業

南海電鉄が主催する以下の事業において、日本遺産PRを実施しています。

1. 世界遺産・日本遺産スタンプラリー

世界遺産登録15周年の「高野山」、今年7月に世界遺産へ登録された「百舌鳥古墳群（塚）」、5月に日本遺産へ認定された「中世に出逢えるまち、河内長野」の3遺産を回るスタンプラリーを開催しています。

開催期間：令和元年9月30日（月）～12月22日（日）

https://otent-nankai.jp/feature/sekai-isan_nihon-isan_stamprally/index.html



世界遺産・日本遺産
スタンプラリー

2. 南海電車まつり2019

世界遺産の高野山、百舌鳥古墳群（塚）と日本遺産の河内長野の3つのエリアをPRするブースを出展します。また、ご当地キャラクターがステージで3遺産の魅力を紹介します。

日時：令和元年11月9日（土）10時～16時

場所：南海千代田工場

<http://www.nankai.co.jp/traffic/info/denshamatsuri2019.html>



南海電車まつりで登場するご当地キャラクター

以上